

平成26年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 西原 小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成26年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

- 1 目的  
本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。
- 2 調査期日  
平成26年4月22日（火）
- 3 調査対象  
小学校 第4学年，第5学年（国語，算数，理科，質問紙）  
中学校 第2学年（国語，社会，数学，理科，英語，質問紙）
- 4 本校の参加状況  

第4学年	国語	61人	算数	61人	理科	61人
第5学年	国語	41人	算数	41人	理科	41人
- 5 留意事項
  - (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
  - (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
  - (3) 平均正答率は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

## ○ 4年 調査結果の概要

### 1 国語

領域等	県と本校の比較 ※	平均正答率 (%)	
		宇都宮市	県
話すこと・聞くこと	やや上回った	87.9	87.8
書くこと	同程度	67.6	67.1
読むこと	やや上回った	56.3	54.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	上回った	67.6	66.0

#### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

##### 【話すこと・聞くこと】

- ・お互いの考えや共通点や相違点を整理して聞くことや話し方の工夫に気を付けて聞くことは、県の平均正答率と比べ上回った結果となった。今後も、話を聞き方の指導を様々な場面で指導していきたい。

##### 【書くこと】

- ・授業において、相手や目的に応じて必要な事柄を抜かさずに順序立てて書くことや手紙の書き方の基本的な知識を押さえて指導をしていく。

##### 【読むこと】

- ・文と文のつながりに注意して文章を読むことや登場人物の気持ちを想像して読むことは、県の平均正答率と比べ上回った結果となった。しかし、与えられた情報から、話合いの展開を理解することに課題があった。図と話合いの内容を読み取ることや与えられた情報から資料の特徴を理解することを各教科で丁寧に扱っていくようにする。

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・結果から既習の漢字の読み書きについてはよく身に付いているといえる。今後も文や文章を書くときは、既習の漢字を正しく用いるよう指導していく。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上、上回っている。

やや上回る…県平均より5%未満3%以上、上回っている。

同程度 …県平均との差が上下3%未満である。

やや下回る…県平均より5%未満3%以上、下回っている。

下回る …県平均より5%以上、下回っている。

#### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- ・国語の授業の内容がよく分かるや国語の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。今後も、国語の授業に意欲的に取り組めるように指導していきたい。また、一か月当たりの読書量も県の平均より上回っていた。今度も朝の読書や読み聞かせ、学校図書館の利用を通して、優れた文学作品を読む楽しさを味わえるように支援していきたい。

## 2 算数

領 域 等	県と本校の比較 ※	平均正答率 (%)	
		宇都宮市	県
数と計算	やや上回った	69.6	68.7
量と測定	同程度	72.8	72.0
図形	やや上回った	77.8	78.0
数量関係	やや上回った	69.4	67.8

### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

#### 【数と計算】

- ・波及的繰り下がりのあるひき算を除いては、基礎的・基本的な計算はよく身に付いていた。筆算の学習におけるノート指導を徹底させたり、一人一人の児童のつまづきを把握した上で支援したりしていく。県全体でも課題とみられる記述の問題については、授業の中で自分の考えをノートに図や数直線や式などを用いてまとめる活動を丁寧に指導していく。

#### 【量と測定】

- ・時間や長さなどの単位の関係をよく理解している。しかし、時ごとと時間の問題では、ある時刻から一定時間前の時刻を求めることに課題があった。問題場面について図を用いて整理させながら理解を深める指導を行っていく。

#### 【図形】

- ・すべての設問で県の平均正答率を上回っていた。今後も具体物を操作させる活動を取り入れて図形の見方や考え方を伸ばしていきたい。

#### 【数量関係】

- ・すべての設問で県の平均正答率を上回っていた。今後も立式の際には言葉や具体物、数直線や図などを関連させながら、多面的に理解できるように支援していく。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上、上回っている。  
 やや上回る…県平均より5%未満3%以上、上回っている。  
 同程度 …県平均との差が上下3%未満である。  
 やや下回る…県平均より5%未満3%以上、下回っている。  
 下回る …県平均より5%以上、下回っている。

### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- ・算数の授業の内容がよく分かるや算数の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。また、算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていることについてもよい傾向も見られた。普段の授業から、日常の事象を算数の内容と関連付け、学習した用語を的確に表現できるような指導をしていきたい。

### 3 理科

領 域 等	県と本校の比較 ※	平均正答率 (%)	
		宇都宮市	県
物質・エネルギー	やや上回った	73.1	71.8
生命・地球	同程度	67.9	67.8

#### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

##### 【物質・エネルギー】

- ・実験を行った内容については、知識としてよく身に付いていた。今後も観察や実験を行う場合は、予想を立てさせたり、実験の準備や方法を話し合ったりして主体的に授業に取り組めるように支援したい。

##### 【生命・地球】

- ・「こん虫や植物」「太陽と地面のようす」の問題の中で、課題があった。観察をする前に、色・形・大きさ・手触り・匂いなどの視点を与えて観察し、記録させるように指導していきたい。季節ごとに観察した植物や昆虫については最後に1年間の成長をノートにまとめ、理解を深めさせたい。また、科学的な思考・表現を高めるために身に付けた知識を活用した問題を授業の中で取り上げ、理由や説明を図や文でノートにまとめるように指導していきたい。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上、上回っている。  
 やや上回る…県平均より5%未満3%以上、上回っている。  
 同程度 …県平均との差が上下3%未満である。  
 やや下回る…県平均より5%未満3%以上、下回っている。  
 下回る …県平均より5%以上、下回っている。

#### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- ・理科の授業の内容がよく分かるや理科の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。また、自然や宇宙など、科学の内容をあつかっているテレビを見たり、本を読んだりすることが好きだと答える児童も多い。今後も児童の興味・関心に沿った授業を行っていきたい。

## ○ 5年 調査結果の概要

### 1 国語

領域等	県と本校の比較 ※	平均正答率(%)	
		宇都宮市	県
話すこと・聞くこと	上回っている	82.0	78.9
書くこと	上回っている	71.5	67.4
読むこと	上回っている	54.6	52.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	やや上回っている	61.7	58.1

#### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

##### 【話すこと・聞くこと】

- ・今後も言語活動の充実を図っていく。理由や根拠を明らかにした自分の意見を述べたり、自分の意見と比べて友達の意見を聞き取ったりする活動を意図的に設定していく。

##### 【書くこと】

- ・県の平均正答率を上回っていた。各教科の授業においても自分の考えをまとめる活動を重視し、思考力・判断力・表現力の育成を図っていく。

##### 【読むこと】

- ・物語の場面の様子を叙述を基にして読むことができるように物語の主題に迫るような感想を書く活動を取り入れる。また、今度も朝の読書や読み聞かせ、学校図書館の利用を通して、優れた文学作品を読む楽しさを味わえるようにする。
- ・与えられた情報から資料を適切に修正する問題については、課題があった。社会や総合的な学習の時間などの授業で資料を活用した学習の充実を図っていく。

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・作文や文章を書くときや日常生活においても、常に習った漢字を意識して使うように指導し、習熟を図っていく。
- ・漢字辞典の使い方や慣用句などの言葉の学習がよく身に付いている。普段から慣用句や言葉の意味を漢字辞典を使って調べる場面を設定し、正しい言葉の使い方を指導していく。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上、上回っている。  
 やや上回る…県平均より5%未満3%以上、上回っている。  
 同程度 …県平均との差が上下3%未満である。  
 やや下回る…県平均より5%未満3%以上、下回っている。  
 下回る …県平均より5%以上、下回っている。

#### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- ・国語の授業の内容がよく分かるや国語の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。また、漢字の読み書きや意味を辞書を使って調べたり、授業で自分の考えを書くときに理由が分かるように気を付けていたりするなど学習への取り組む姿勢についてもよい傾向が見られた。今後も、国語の授業に意欲的に取り組めるように指導していきたい。

## 2 算数

領 域 等	県と本校の比較 ※	平均正答率 (%)	
		宇都宮市	県
数と計算	上回っている	79.8	77.1
量と測定	やや上回っている	73.4	72.9
図形	同程度	79.4	78.0
数量関係	上回っている	67.0	64.0

### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

#### 【数と計算】

- ・小数や分数の計算について、県の平均正答率を上回っていた。今後も計算の仕方を説明することや文章問題を図で表して場面を捉えることを丁寧に扱っていきたい。

#### 【量と測定】

- ・図形の面積や角の大きさについては、県の平均正答率を上回っていた。しかし、面積の単位の問題については、課題があった。長さや大きさのイメージを持てるような工夫をして理解を深めさせたい。

#### 【図形】

- ・立体の図形の見取り図や展開図の学習では、自分で書いた展開図を切り取って組み立てる活動を取り入れたり、立体模型にふれながらその立体の特徴を確認したりするようにしていく。

#### 【数量関係】

- ・伴って変わる二つの数量の関係を式に表す問題についてはよく理解していた。今後も関数的な見方が広がるような問題にふれさせたい。折れ線グラフと表については、算数だけでなく様々な教科でグラフや表の読み取りの場면을重視して学習していく。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上, 上回っている。  
 やや上回る…県平均より5%未満3%以上, 上回っている。  
 同程度 …県平均との差が上下3%未満である。  
 やや下回る…県平均より5%未満3%以上, 下回っている。  
 下回る …県平均より5%以上, 下回っている。

### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- ・算数の授業の内容がよく分かるや算数の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。また、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているという授業への取り組みについてよい傾向も見られた。今後も意欲的に授業に取り組めるように指導していきたい。

### 3 理科

領域等	県と本校の比較 ※	平均正答率(%)	
		宇都宮市	県
物質・エネルギー	上回る	70.8	69.5
生命・地球	同程度	71.5	70.8

#### 本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

##### 【物質・エネルギー】

- 物質・エネルギーの問題の正答率は県の平均より上回っていた。実験や観察を行う際には、予想や実験の方法などについて話し合ったり、結果を考察してまとめたりする活動を今後も大切に指導していく。また、県の平均正答率からも2個の乾電池を直列つなぎする問題に課題があった。図で表した回路を実際に具体物で確認する活動などを取り入れながら、理解を深めさせたい。

##### 【生命・地球】

- 自然事象についての知識・理解についての問題は、よく身に付いていた。しかし、科学的な思考・表現についての問題に課題があった。今後も、観察や実験したことを考察する際は、ノートに言葉や図などで工夫して分かりやすくまとめる活動を重視して指導していきたい。

※「県と本校の比較」について

上回る …県平均より5%以上、上回っている。  
 やや上回る…県平均より5%未満3%以上、上回っている。  
 同程度 …県平均との差が上下3%未満である。  
 やや下回る…県平均より5%未満3%以上、下回っている。  
 下回る …県平均より5%以上、下回っている。

#### 児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

- 理科の授業の内容がよく分かるや理科の学習が好きであるという質問に対する肯定的回答は、県に比べ大きく上回っている。また、自然や宇宙など、科学の内容をあつかっているテレビを見たり、本を読んだりすることが好きだと答える児童も多い。今後も児童の興味・関心に沿った授業を行っていきたい。